



北米ホーリネス教団
オレンジ郡
キリスト教会
「週報」

2014年の努力目標

1. 朝の15分の祈りを大切に。
2. 1日2章の聖書日課に励む
3. 日ごとの写教に励む
4. 定期の祈り会に参加
4. 聖書研究・家庭集会への参加
5. 礼拝欠席の時は牧師に連絡を。

◎集会案内◎

日曜 礼拝 : 9:30~10:45am
 コーヒー・アワー : 日曜日 10:45~11:15am
 聖書の学び : 日曜日 11:15~12pm
 みふみ会 : 水曜日 10am
 定例祈禱会 : 水曜日 7:30pm
 早天祈禱会 : 土曜日 7am
 家庭集会 : 各地区に2箇所
 牧 師 : 杉村 幸 (日本語部)
 : 益田デーロ (英語部)
 電 話 : (714) 827-6244 (教会)
 : (714) 527-1456 (牧師館)
 E-Mail : sugimura1950@gmail.com
 教会ホームページ : www.occc.org
 教会所在地 : 4872 Bishop St.
 Cypress, CA 90630

石 叫 口

◎石叫 ■ 「眠っておられた主」

マルコ四章に、ガリラヤ湖上で大嵐に遭遇したイエス様一行の話が記されている。激しい突風のために、波が舟に満ちそうになったというのである。当時の舟というのは、7〜8人も乗れば一杯になるほどの小さなものであったから、水が満ちるのにも、そう時間は掛からなかったであろう。それは大の海の男たちですら、どうにもならないほどの激しい嵐だった。一方、主イエスはその時、舟の艫（とも）の方で、枕をして眠っておられたとある。弟子たちはその闘いの中で、ついに、「先生、わたしどもがおぼれ死んでも、おかまいにならないのですか」と叫んだのだ。舟が沈みそうになり、彼らの命に危険が迫っている時にも、主はどうして眠っておられたのであろうか。よほど疲れていたのでしょうか。「きつねには穴があり、空の鳥には巢がある。しかし、人の子にはまくらす所がない」(マタイ八・20)とあるように、実に多忙な日々だったことは確かである。病気を持っている人、悪霊にとり憑かれている人、そういう人たちが昼夜を分かたず、わんさと押しかけて来ていたのだから、眠ることすら出来ない多忙な日々であったのだらう。でも、主の眠りは次元が違っていた。

詩篇百二十一篇に、「あなたを守る者は：まどろむこともなく、眠ることもない」(2)とある。主はご自身に従う者をその生涯にわたって、いつも見守り続けるというのである。そのような神である主イエス・キリストは、弟子たちが死に瀕している時にも、確かに眠っていたとあるが、心の目は覚めていた。主は心の目を開けて、彼らの一挙手一投足をつぶさにご覧になっていたのである。神の神たるゆえんは、いつも私たちの行く末を全身全霊をもって見守っておられるという点にあるからだ。そのことも知らずに、弟子たちは目の前の嵐のことで目がくらみ、彼らを見ておられる主の愛の眼差しに気がつかなかったのである。だから主はそこで、「どうして信仰がないのか」と嘆かれています。信仰とは現実の荒波を越えて、心の目でその現実の向こうを見ることが出来ることだからである。

しかし、その主が枕して眠られた時があった。それは十字架で、「すべてが終わった」と言われ、首をたれて息をひきとられた(ヨハネ十九・30)時である。首を垂れるとは枕するという意味である。主の休み所はこの地上では十字架しかなかったのである。主が私たちの罪のために身代わりとなって死なれたことにより私たちは救われ、主は初めて休まれたのである。十字架が救いの場だからである。そこで私たちも初めて心の目覚めの時を迎えるのである。

「オレンジ郡キリスト教会の歩み」

オレンジ郡キリスト教会は1977年に発足し、東洋宣教会・北米ホーリネス教団に所属するプロテスタント教会の一つです。北米ホーリネス教団は1921年に創立され、現在は日英両語合わせますと2000名を越える会員になります。

私たちの教会は18世紀に、英国で始まったジョンウエスレーによるメソジスト教会の流れを汲みます。そして他のプロテスタント教会同様、3世紀以来告白され続けてきた使徒信条を、私達の信仰告白と致します。

